

支笏湖ビジターセンター便り

2021年(令和3年)8月号 Vol. 140

「野鳥の森」遊歩道さんぽ

～「休暇村支笏湖」周辺の森を歩いて見つけた 旬の自然を紹介するコーナーです～



エゾトリカブトが咲きました！

8月に入り、エゾトリカブトが開花しました。青紫色の花は、とても品のある姿をしています。独特の形の花で、昔の帽子「烏兜」に似ていることが命名の由来です。

優美な花とは裏腹に、アコニチンと呼ばれる猛毒を持つ有毒植物で、アイヌの人々はこの毒を矢尻につけてヒグマを獲ったそうです。春の山菜とりの時期、葉の形が似るニンジンソウと間違えて命に関わる食中毒を起こす事故が例年起こっています。気をつけましょう。

9月には
実が赤く熟します



コウライテンナンショウ（結実）

茎の模様が独特。まるで蛇のように見えませんか。今年はビジターセンター裏の小さな茂みの中にまとまって見られます。蛇嫌いの方はこの模様にびっくりするかも。ご用心！



ハンゴンソウ

大きいもので高さ2メートルほどにもなります。北海道のほかには本州中部以北に咲きます。漢字表記は「反魂草」。諸説ある名の由来の一つに、深く切れ込んだ葉の形が、魂を呼び返そうとする手に見えるから、というものがあります。葉っぱを見て確かめてみてはいかがでしょうか。



キンミズヒキ

明るい黄色の小さな花が穂状に並んで咲いています。花が終わった後は曲がったトゲをつけた実がなり、近くを歩く動物の毛に付くようになります。人の服についたら「引付き虫」と呼ばれます。生き物に種を運んでもらおうという「したかな作戦?」を立てている植物です。

夏の終わりに咲く野草たち

7月中旬から8月上旬にかけて暑い日が続きましたが、8月中旬から肌寒い日が多くなってきました。乾燥した空気から「秋の匂い」を感じている方も多いと思いますが、道端に咲く野草たちからも夏の終わりが近づいていることを教えてもらえます。自然の中を歩いて、季節の移ろいをよりいっそう実感して

貸出を休止します。ご理解お願いいたします。

まん延防止等重点措置の措置区域に指定されたため、ビジターセンターでは新たな感染対策として、以下の貸出及び使用を休止いたします。ご理解いただけますようお願いいたします。

・VRゴーグル・レンタサイクル・虫とり網・虫かご

期間：8月14日～31日まで

支笏湖温泉 の気象

気温(°C)

	平年値	今年
7月上旬	16.8	16.7
中旬	18.0	21.5
下旬	19.2	22.7
8月上旬	20.1	23

降水量(mm)

	平年値	今年
7月上旬	53.0	91.5
中旬	53.7	4.5
下旬	57.1	36.5
8月上旬	55.3	135

支笏湖畔の気温・降水量
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

7月の平均気温は平年値より2.4℃も高い20.4℃と、1978年の観測開始以来、同年の20.6℃に次ぐ第2位の暑さでした。7月の最高気温は19日の31.8℃で同月としては第1位。通年でも2007年の8月19日の31.9℃に次ぐ第2位です。

また、日最高気温が25℃を超える日が15日あり、そのうち5日が日最高気温30℃以上の真夏日でした。7月に真夏日が5日あったのは観測開始以来初めてです。過去の7月中の真夏日は1985年の2回が最多で、1981年と2004年の1回ずつだけです。それだけ今年の暑さが際立ちます。

8月に入っても暑さは続き、上旬の平均気温は平年値より2.9℃高い23.0℃で、真夏日は3日ありました。ちなみに8月の真夏日は1999年の5回が最多です。



コエゾゼミ(左)とエゾチッチゼミ(右)

8月初旬に樽前山に行った際、セミたちの大合唱を聴くことができました。本州中部で育った私は「夏といえばセミの声」という程、夏を聴覚で記憶していて、支笏湖でもセミたちが夏の音を奏でていることを嬉しく思いました。

樽前山で鳴いていたのはコエゾゼミとエゾチッチゼミ。樹林帯では前者が多く、標高が上がると後者が多くなります。高い木の上にいる印象があるセミですが、見つけやすい地面の岩の上や低木でも鳴いています。皆さんも支笏湖の夏を耳でも感じてみて下さいね。

環境省支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブ・レンジャー
(自然保護官補佐)
荒川 真吾

支笏湖ビジターセンター便り

報告！

「真っ暗支笏湖」企画

8月14日(土)15日(日)
「夏の氷濤まつり」
開催しました



ビジターセンター展望デッキで14日と15日、日没から20時までの間、「夏の氷濤まつり」を開催しました。

今年1月～2月に開催された「氷濤まつり」で作られた氷像の一部を展示。同時に、氷像の製作風景などの映像をスクリーンに投影し「まつり」を紹介しました。訪れた子どもたちは、氷の塊に興味津々。すぐに氷遊びに夢中になっていました。触れている氷が「湖の水で作った氷」と知ると、とてもびっくりしていましたよ。



「千歳・支笏湖氷濤まつり」は、支笏湖の湖水を凍らせて作った氷像(大小合わせて30基程)を展示する冬のお祭りです。透明度の高い湖水で作った氷は、日中は太陽の光を受けて青色に輝き、夜はライトアップされカラフルに彩られます。厳冬の支笏湖で行われる幻想的な雰囲気漂うお祭りです。

来年は1月29日(土)～2月23日(水・祝)に開催予定!

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行
〒066・0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地
TEL 0123・25・2404
HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料
4月から11月 午前9時から午後5時30分まで
12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで
(火曜日休館)
年末年始休館日 12月29日から1月3日まで

ビジターセンター多目的室展示紹介

浩而魅諭×浜口秀樹二人展「生き物図鑑2」

8月29日(日)
午後3時まで

野生動物の細密画を専門とする画家・浩而魅諭さんと漆工芸家・浜口秀樹さんが、それぞれペンと漆を用いてサンショウウオなどの身近な生命を表現した作品を展示しています。全37点。見応えがありますよ!

9月は小笠原実好さんの絵画展を予定しています